

大企業区分

優秀賞

株式会社帝国ホテル

※事業者の情報は 2016 年 11 月時点

所在地	東京都千代田区内幸町 1-1-1
業種	宿泊業, 飲食サービス業
社員数	(単体)1,844 名 (連結)1,941 名
ウェブサイト	http://www.imperialhotel.co.jp/j/

快適性・安全性・利便性の追求と環境配慮に挑戦する人材の育成

目的

国際的ベストホテルを目指す企業として、お客様に最も優れたサービスと商品を提供し、感動を追求し続ける中で、環境配慮は社会から期待される新たなおもてなしの一つと捉え、積極的に取り組んできた。

従業員一人ひとりが、当事者意識を持って環境活動を推進するとともに、お客様や社会に発信し、価値を共有することが社会的責任であると考え、目標設定、実行、達成度評価、新たな目標設定を行い、継続的に活動を発展させている。

概要

2001年に社長を委員長とする環境委員会を発足し、グリーンチーム(社内外への情報発信)、省エネチーム(省エネルギー)、フェニックスチーム(リサイクル推進)、グリーン購入チーム(グリーン購入)の4つの社内横断的な分科会を設け、全社体制で活動を推進している。各分科会は、調理人、ウエイター、客室係等、各職場から選出されたメンバーで構成し、計画的に活動を推進している。

具体的な活動は、①「社会とともに」、②「お客様とともに」、③「従業員とともに」という『3つの視点』と、①「環境負荷を減らす」、②「環境にいいことを増やす」、③「活動をひろく知ってもらおう」という『3つの方向性』の組み合わせでひろげている。特に、全ての活動の土台となる「従業員とともに」×「活動をひろく知ってもらおう」取り組みを充実させることが、全社的な課題解決力の向上につながるため、力を入れて取り組んでいる。

特徴・アピールポイント

(1) 「環境部」・「CSR 部」はなく、東京・大阪・上高地・柏の 4 事業所で各分科会が計画的に活動を推進している。

- チーム員の任期は1年で、職場の代表として参加する。各分科会では、中期環境ビジョンを踏まえ、チームで半期毎にスケジュールを立て、分担しながら每期 10 個程度の施策を実行する。それぞれ毎月定例会議を行い、計画の進捗確認、新たな取り組みの提案、社外の最新動向についての勉強会等を行いながら、活動している。
- 「3つの視点」と「3つの方向性」に基づき、各職場の省エネ状況調査(省エネチーム)、環境セミナーの実施(グリーンチーム)、ごみ分別の好事例を全社で共有(フェニックスチーム)、印刷物のグリーン購入化検討(グリーン購入チーム)等、チーム員が協力し、現場の視点を踏まえて主体的に推進し、全社を巻き込む。

(2) 社内への情報発信が充実している。

- 環境活動の手引き「エコガイド」を発行し、全従業員に配付している。環境活動に対する意識啓発だけでなく、一人ひとりが当社の取り組みをお客様に紹介できるようになることを目指している。
- 館内に環境ニュース専用の掲示板を設け、各分科会が毎月手作りポスターを作成し、トピックを発信している。
- 社内報にて、環境関連法令への対応状況や、各事業所での最新の取り組みを発信し、共有している。
- 入社 5 年目以下の若手従業員を対象とした社内環境セミナーを定期的で開催している。

(3) 実際に体験する機会を積極的に設けている。

- アルミ缶の分別作業を従業員の持ち回りで行い、分別ルールの徹底を図っている。分別回収リサイクルの収益は、日比谷公園の花壇管理に活用し、成果を可視化できるようにしている。

アルミ缶分別回収リサイクルの様子

従業員ラウンジから排出されたアルミ缶の分別作業を、持ち回りで実施。飲み残し、ごみ混在防止に対する意識を高める。



- 社内環境セミナーのプログラムに「社内環境ツアー」を設けている。社内の環境配慮設備やエネルギーを多く使う設備等を実際に見て、体感することで、従業員の理解浸透と社外への発信力向上につなげている。

社内環境ツアーの様子

社内のさまざまな環境配慮設備を見学することで、環境への意識を高める。



「環境 人づくり企業大賞 2016」受賞企業の取組事例

- 環境循環型野菜(自社の生ごみを材料とした堆肥で育てた野菜)を従業員食堂で提供し、食品リサイクルへの意識啓発を行っている。野菜は一部レストランのメニューでお客様にも提供し、社外への発信も行っている。

(4) 「従業員とともに」推進してきた活動を「お客様とともに」・「社会とともに」ひろげ、価値を共有している。

- 2005年より環境に優しいグリーン電力を自社催事で積極的に利用してきた。お客様と一緒にひろげていくため、2014年よりホテル業界で初めて、宴席でグリーン電力を使用できるプランの紹介を開始した。

関連・補足情報

- 帝国ホテルの環境活動（活動方針、取り組み体制、具体的な取り組み事例等を紹介）

<http://www.imperialhotel.co.jp/j/company/csr/environment/index.html>

審査委員からの講評

環境部や CSR 部ではなく、社内外への情報発信、省エネルギー、リサイクル推進、グリーン購入の 4 つの社内横断的な分科会を設置し、あらゆる職種から選出された社員が参加して環境活動を実施していることは、全組織的な実践活動として高く評価できる。

入社 5 年目以下の若手社員を対象に社内環境セミナーを行い、実際に現場を見学するツアーを行った上で、グループワークによる改善案の提出と表彰を行っており、学びのふりかえりの視点もあり効率的で、工夫された研修となっている。

「お客様とともに」の視点から、今後、顧客向けの「社会環境ツアー」を検討していることや「社会とともに」の視点から、日比谷公園の花壇管理・運営への支援など、社会との関係性の強化を図っている点も高く評価できる。しかし、省エネルギー、リサイクル、グリーン購入といった組織内での活動に関しての分科会活動が中心であるため、意図せず「社員とともに」の視点が強くなり、往々にして「社会とともに」の意識が薄くなってしまうおそれがある。

「社会とともに」の視点を常に持つことや社外の様々な主体との連携を図ることにより、持続可能な社会構築に貢献する、さらに充実した活動となると思われる。